

南海トラフ地震等を想定 物流検討会開催

東日本大震災以降、日本海国土軸の重要性が改めて認識されています。

産業が集中する太平洋側で大規模災害が発生した際に、我が国の物流機能を維持するため、北陸地域の港湾が果たすべき役割や方策を検討する「広域バックアップ専門部会」を下記のとおり富山市で開催します。

今回は、平成27年度では2回目の開催となります。物流関係者などによる代替輸送のための体制・役割について議論を行います。

記

■北陸地域国際物流戦略チーム

平成27年度 第2回 広域バックアップ専門部会

日時:平成27年12月9日(水) 14:30~16:45

場所:富山県民共生センター

サンフォルテ 3F研修室 307・308 (別紙-1参照)

住所:富山県富山市湊入船町6-7
みなといりふねちよう

代表電話:076-432-4500

- 議 事:①前回の専門部会で頂いたご意見と対応
②代替輸送のための体制・役割について
③代替輸送訓練の取りまとめについて
④討議

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ

新潟県政記者クラブ

新潟市政記者クラブ

長野市政記者クラブ

長野県庁会見場

富山県政記者クラブ

石川県政記者クラブ

福井県政記者クラブ



【問い合わせ先】

国土交通省 北陸地方整備局 港湾空港部

計画管理官 おぐら かずひと
小倉 一仁

港湾物流企画室長 たなべ ふみあき
田邊 文昭

TEL 025-370-6706

FAX 025-280-8783



会場案内図



第1回広域バックアップ専門部会の状況

(用語の説明)

○北陸地域国際物流戦略チーム

北陸地域の物流に係る課題・施策について、幅広い意見・情報交換を行うとともに、問題意識を共有し具体的な施策を検討するため、経済団体、物流団体、港湾関連会社、航空関連会社、学識経験者、諸官公庁等から構成されている組織で、平成18年8月に設置。

○広域バックアップ専門部会

産業が集中する太平洋側で大規模災害が発生した際に、我が国の物流機能の維持に対応するため、北陸地域の港湾が果たすべき役割や方策を検討することを目的として、防災・物流・経済関係の有識者、物流関係者、関係行政機関から構成されている組織で、北陸地域国際物流戦略チーム内に、平成24年12月に設置。

(北陸地域国際物流戦略チーム 第2回広域バックアップ専門部会名簿)

平成27年度 北陸地域国際物流戦略チーム 第2回広域バックアップ専門部会名簿

区分		所属・機関名	職位等
学	大学	東北学院大学 教養学部	教授
		京都大学 防災研究所	教授
		名古屋工業大学 大学院	教授
		新潟大学 経済学部	准教授
	防災	特定非営利活動法人 危機管理対策機構	理事・事務局長
産	経済	北陸経済連合会	常務理事
		一般社団法人新潟県商工会議所連合会	新潟商工会議所事業部長
	保険	損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社	取締役
	金融	株式会社 日本政策投資銀行	BCM格付主幹
	船社	神原汽船株式会社	定期船部部長
	港運	株式会社リンコーコーポレーション	代表取締役社長
		直江津海陸運送株式会社	業務部部長
		伏木海陸運送株式会社	代表取締役専務
		株式会社 金沢港運	取締役
		敦賀海陸運輸株式会社	常務取締役
	物流事業	日本通運株式会社	課長
		一般社団法人全国物流ネットワーク協会	常務理事
	鉄道	日本貨物鉄道株式会社新潟支店	担当課長
官	港湾管理者	新潟県	交通政策局副局長
		富山県	土木部長
		石川県	商工労働部長
		福井県	土木部長